

◆好調カテゴリ別 金額市場規模前年比一覽

主食			
前月よりも落ち込んだものの、前年比101.7%と前年を上回った。値上げの影響による、販売金額の増加も見られた。 「米飯類」：カレーごはんがとりわけ好調。シーフードカレーの新商品の寄与が見られた。 「菓子パン・調理パン」：外出時の需要回復に加えて、値上げの影響で伸長したと見て取れる。 「乾麺」：そばやラーメンがとりわけ伸長。ラーメンでは、韓国鍋用のものの好調が見られた。 「スパゲティ・小麦粉」：値上げの影響もあるが、容量も伸びており、先高観で駆け込み需要が起きたと推察。			
カテゴリ	金額前年比 2022年3月	前月差 2022年3月	
主食 TOTAL	101.7		-0.6
米			
米飯類	106.1		-0.3
食パン	100.5		-1.2
菓子パン・調理パン	106.7		2.5
シリアル類	100.8		-6.5
袋インスタント麺	100.3		-10.0
カップインスタント麺	101.2		-4.9
乾麺	106.2		2.9
生麺・ゆで麺			
スパゲティ	106.5		2.3
マカロニ類			
小麦粉	118.3		13.4
てんぷら粉	102.3		7.9
唐揚げ粉			
パン粉			
ブレミックス	100.3		6.1

調味料			
前月よりもわずかに落ち込み、前年比98.7%と前年を下回った。 「低カロリー甘味料」：腸内環境を整える効果があると訴求する、オリゴ糖ベースのものがとりわけ好調。 「ケチャップ」：4月からの値上げ前に駆け込み需要が起きたと考えられる。 「マヨネーズ」「サラダ油・天ぷら油」：値上げの影響で販売容量は落ち込んだものの、容量当たり価格の上昇によって販売金額は増加。			
カテゴリ	金額前年比 2022年3月	前月差 2022年3月	
調味料 TOTAL	98.7		-0.1
醤油			
味噌			
食塩			
料理酒			
砂糖			
低カロリー甘味料	104.4		-1.4
シロップ類			
蜂蜜			
ソース			
ケチャップ	102.9		4.6
マヨネーズ	106.3		1.3
ドレッシング			
香辛料			
エッセンス類			
焼肉シャブシャブのタレ			
食酢			
ほん酢			
本みりん	101.2		0.8
みりん風調味料			
風味調味料			
削り節			
煮干し			
わかめ・こんぶ類			
つゆ・煮物料理の素			
サラダ油・天ぷら油	108.0		4.2
ゴマ油			
バター			
マーガリン類			
チーズ			
ジャム・ママレード			

※網掛け
前年比 105%超: 105.0%

加工食品①			
前月よりも落ち込んだものの、前年比102.8%と前年を上回った。備蓄需要や簡便化志向の高まりか、冷凍食品の好調が継続。 「冷凍水産」：生鮮のもののような下処理の手間が不要で、簡便にさまざまな料理に使用できることから、人気となっていると推察。 「冷凍農産」：フライドポテト、ブロッコリー、ほうれん草がとりわけ好調。フライドポテトは、飲食店での販売中止の影響によって、内食用の需要が高まったと考えられる。			
カテゴリ	金額前年比 2022年3月	前月差 2022年3月	
加工食品① TOTAL	102.8		-2.9
春雨・くず切り	100.8		-4.3
こうや豆腐			
海苔	101.4		0.7
ふりかけ			
お茶漬の素			
まぜご飯の素			
カレー	100.5		-2.6
シチュー			
パスタソース			
シチューベース			
メニュー専用料理の素			
スープ類	102.6		-3.9
味噌汁・吸物類	100.9		-2.9
調理用スープ			
冷凍水産	129.9		-0.0
冷凍農産	107.6		-3.4
冷凍調理	106.7		-2.0

加工食品②			
前月よりも落ち込み、前年比97.1%と前年を下回った。 「和風食品」：玉子や鯛焼きの好調が継続。手軽におかずやおやつを取れることから、人気となっていると推察される。 「焼豚」：厚切りや切り落としタイプがとりわけ好調で、おつまみや料理の具材として人気となっていると考えられる。			
カテゴリ	金額前年比 2022年3月	前月差 2022年3月	
加工食品② TOTAL	97.1		-3.3
魚介類缶詰			
野菜缶詰			
フルーツ缶詰			
畜肉缶詰			
パウチ入り食材			
和風食品	105.4		-7.0
洋風食品			
中華風食品			
畜肉ハム			
畜肉ソーセージ			
魚肉ソーセージ	104.0		0.5
焼豚			
ベーコン			

加工食品③			
前月よりも落ち込み、前年比98.4%と前年を下回った。 「はんぺん」：お刺身風の新品種が好調で、おつまみ需要で人気となったと考えられる。			
カテゴリ	金額前年比 2022年3月	前月差 2022年3月	
加工食品③ TOTAL	98.4		-1.7
かまぼこ			
ちくわ			
はんぺん	104.0		-1.1
揚げ物			
納豆			
煮豆			
佃煮	100.7		0.2
もずく・めかぶ			
豆腐類			

菓子			
前月よりも伸長し、前年比101.9%と前年を上回った。 「キャンディ」：グミの好調がけん引。のどに症状が出やすいとされるオミクロン株の影響か、のど飴も堅調となった。 「玩具メーカー菓子」：人気バーチャルYouTuberやアニメの新商品が好調で、大きく伸長。			
カテゴリ	金額前年比 2022年3月	前月差 2022年3月	
菓子 TOTAL	101.9		1.6
チョコレート			
キャラメル	104.8		8.2
キャンディ	110.7		3.1
チューインガム			
ビスケット&クラッカー	104.6		-1.1
スナック	100.8		-0.6
煎餅・あられ			
玩具メーカー菓子	156.8		79.8
栄養バランス食品			

嗜好品			
前月よりもわずかに落ち込み、前年比99.0%と前年をやや下回った。 記録的な気温上昇が見られた前年ほどは気温が上がらなかったため、アイスクリームが苦戦した一方で、以下のカテゴリが伸長。 「デザート類」：フルーツゼリーの好調が続くほか、前年ほど気温が上がらなかったためか、おしるこやも堅調。 「レギュラーコーヒー」：値上げによる販売金額の増加が見られた。種類別では、豆タイプやドリップコーヒーの好調が継続。 「紅茶」：前年ほど気温が上がらなかったことで需要が高まる中、はちみつ紅茶がとりわけ好調。			
カテゴリ	金額前年比 2022年3月	前月差 2022年3月	
嗜好品 TOTAL	99.0		-0.3
アイスクリーム			
デザート類	104.5		-2.7
ベビーフード	100.4		-1.2
インスタントクリーム			
フレッシュクリーム			
ホイップクリーム			
インスタントコーヒー	111.4		1.7
レギュラーコーヒー	108.7		-3.0
紅茶			
ココア			
日本茶			
麦茶			
中国茶			

飲料			
前月よりもわずかに伸長したものの、前年比97.8%と前年を下回った。前年ほど気温が上がらなかったため、苦戦したと見て取れる。 「乳酸菌飲料」：ストレス緩和等の効果を訴求する、機能的表示食品の商品の寄与により伸長。 「スポーツドリンク」：ワクチン接種時の副反応対策として、需要が高まったと考えられる。			
カテゴリ	金額前年比 2022年3月	前月差 2022年3月	
飲料 TOTAL	97.8		0.1
牛乳			
ヨーグルト			
乳酸菌飲料	120.6		2.5
豆乳			
100%ジュース			
果汁飲料			
トマトジュース			
野菜ジュース			
コーラ	104.0		0.9
サイダー			
炭酸飲料	100.6		1.9
コーヒードリンク			
紅茶ドリンク	102.2		1.7
液体茶			
スポーツドリンク	113.1		-0.4
美容・健康ドリンク	101.7		3.3
栄養ドリンク			
ミネラルウォーター類	107.0		4.0
乳酸飲料			

ペット			
前月よりも伸長したものの、前年比97.8%と前年を下回った。 「ペットフード」：価格帯の高いおやつタイプが好調で、家族の一員としてペットフードにかかるお金が増加しているものと推察される。			
カテゴリ	金額前年比 2022年3月	前月差 2022年3月	
ペット TOTAL	101.9		0.4
ドッグフード			
キャットフード	104.2		-0.5
ペット用品	102.0		2.3

アルコール			
前月よりも伸長したものの、前年比97.8%と前年を下回った。 「ウイスキー」：スコッチウイスキーやハイボール缶がとりわけ好調。			
カテゴリ	金額前年比 2022年3月	前月差 2022年3月	
アルコール TOTAL	97.8		0.6
ビール類			
ウイスキー	102.1		-0.2
ワイン			
日本酒			
焼酎			

日用雑貨			
前月よりもわずかに伸長し、前年比102.3%と前年を上回った。トイレットペーパー・ペーパータオル・紙おむつなどの紙製品は、4月からの値上げが発表されていたため、駆け込み需要が起きたと推察。 「アルミホイル」：値上げの影響もあるが、個数も伸びており、先高観で駆け込み需要が起きたと推察。 「絆創膏」：前年ほど気温が上がらなかったため、乾燥に伴うひび・あかぎれ対策の需要が高まったと考えられる。 「使い捨てカイロ」：前年ほど気温が上がらなかったため、需要が高まったと見て取れる。			
カテゴリ	金額前年比 2022年3月	前月差 2022年3月	
日用雑貨 TOTAL	102.3		0.3
歯ブラシ	101.4		2.8
歯磨き	101.9		0.3
マウスウォッシュ	103.2		0.3
義歯用剤			
洗濯用洗剤	104.1		2.3
中性洗剤			
漂白剤	101.1		3.3
柔軟剤	104.3		2.1
台所用洗剤	101.0		-0.2
住居用クリーナー	101.9		6.8
トイレ用クリーナー	102.1		-0.7
バスクリーナー	105.9		-2.6
パイプクリーナー	108.7		4.0
家庭用手袋			
化学雑巾			
たわし・スポンジ	100.3		3.8
水切り袋	105.0		-1.2
殺虫剤			
防虫剤			
カビ防止剤	101.6		6.6
芳香・消臭剤			
トイレットタンク用洗浄芳香剤			
除湿剤			
ラビングフィルム	100.3		0.2
アルミホイル	113.0		4.7
食品包装用品	101.0		3.3
アルミガスケット			
ティッシュペーパー	100.6		1.4
トイレットペーパー	113.3		6.3
ペーパータオル	111.6		0.4
ぬれティッシュ	102.7		0.5
使い捨て紙クリーナー			
紙おむつ			
大人紙おむつ	106.3		0.2
生理用品			
絆創膏	105.1		-4.3
使い捨てカイロ	123.9		-44.4
綿棒			

化粧品			
前月よりも伸長したものの、前年比99.6%と前年をやや下回った。 おしろい、口紅、眉目料といったメイクアップ化粧品が、前年を上回ったことから、外出を控える動きが弱まったものと推察。 ただし、前年比では大きく伸長している口紅は、マスク着用でも落ちにくいことを訴求する商品の好調で前年より伸長しているものの、コロナ前の水準までは回復していない。			
カテゴリ	金額前年比 2022年3月	前月差 2022年3月	
化粧品 TOTAL	99.6		0.7
クレンジング	103.1		4.0
洗顔クリーム			
化粧水			
乳液	103.3		2.9
栄養クリーム			
パック	103.4		4.0
美容液			
化粧下地			
ファンデーション	102.6		6.4
おしろい	108.8		4.8
口紅	132.9		9.3
眉目料	103.9		1.4
マニキュア			

医薬品			
前月よりも伸長し、前年比102.9%と前年を上回った。 「マスク」：外出を控える動きが弱まったことで、感染予防対策だけでなく、花粉対策としても、外出時の需要が高まったと推察。 「解熱鎮痛剤」：ワクチン接種時の副反応対策として、需要が高まったと見て取れる。 「口腔用薬」：前月ほどの勢いはないものの、オミクロン株の症状がのどに出やすいとされることから、需要が堅調に推移したようだ。 「目薬」：アレルギー用のものが好調。花粉の飛散開始時期が前年より遅れたことで、需要のピークが3月にずれの影響と推察される。			
カテゴリ	金額前年比 2022年3月	前月差 2022年3月	
医薬品 TOTAL	102.9		7.0
コンタクト用剤			
マスク	110.1		7.4
ミニドリンク剤			
漢方薬	102.3		-4.6
総合感冒薬			
鼻炎治療剤			
解熱鎮痛剤	128.4		3.5
鎮咳去痰剤	104.3		-20.3
口腔用薬	112.7		-29.4
胃腸薬	101.1		2.3
整腸薬	101.0		2.6
外用鎮痛消炎剤			
皮膚用薬			
目薬	114.5		46.7
健康食品	100.6		-1.0

この資料は当該データの公開時点での集計であり、最新データと異なることがあります。
利用は、原則貴社内のみとし、第三者への開示が必要な場合は、弊社が定める「パネルデータレポート第三者開示・利用基準」に従います。
また、弊社に起因しない事由により生じた内容の瑕疵についての訂正・取替えに関する義務は負いかねます。